

リゾート事業

箱根小涌園再開発効果の最大化と、
将来の収益力強化に向け
種まきを行います。

執行役員
リゾート事業部長
恩田 豊



機会

- 2023年「箱根ホテル小涌園」開業によるエリア活性化
- 箱根エリアでの年間約2,000万人の安定的な観光客数
- インバウンド増加による、宿泊・レジャー需要の高まり

リスク

- 自然災害の発生
- リゾート地で顕著な人手不足の影響
- 外資ホテルチェーンを含めた競合ホテルの台頭

「中期経営計画2028」の戦略

- 箱根小涌園での再開発効果最大化
- 既存施設の商品力強化と遊休地活用
- 事業領域の拡大と新規出店

	2023年 実績	2028年 計画
売上高	84億円	117億円
営業利益	1億円	8億円

コロナ禍の振り返り／今期の振り返り

リゾート事業の収益力を強化するためには箱根小涌園の活性化が不可欠であるという強い思いのもと、コロナ禍においても引き続き箱根小涌園再開発を推進してまいりました。箱根小涌園の原点に立ち返り、幅広い顧客層のニーズに対応した一体型リゾートとして再興すべく、2018年に営業を終了したホテル跡地に、ファミリー層を主ターゲットとした「箱根ホテル小涌園」を2023年7月に新たに開業、あわせて隣接している「箱根小涌園ユネッサン」においても開業以来最大のリニューアルを実施し、高い相乗効果を得ることができました。このほか、高付加価値サービスを提供する「箱根小涌園 天悠」、国登録有形文化財にも指定される建築美でインバウンド需要が高い「箱根小涌園 三河屋旅館」など、個性豊かな施設が揃い、多様化する宿泊・観光ニーズにお応えすることで、2023年12月期はコロナ禍前の2019年12月期比でも26億円の増収、11億円の増益となりました。

「中期経営計画2028」の戦略と達成に向けた施策

本計画の戦略では、この再開発の効果を最大化させること、拠点・事業領域拡大を見据えたトライアルに着手することを方針としています。箱根小涌園では宿泊需要が堅調に推移しており、好調な立ち上がりの「箱根ホテル小涌園」の増築を計画しているほか、「箱根小涌園ユネッサン」では、森の湯や貴賓館など和のゾーンのリニューアルを行うことで、インバウンドをはじめとした平日需要の取り込みを図ります。また、エリア内の遊休地を活用し、四季折々の花や景色が楽しめる散策路や展望テラスを設置するなど、箱根を代表する観光地を目指して様々な取り組みを行ってまいります。さらに、将来の事業拡大に向けて、宿泊およびその他事業も含め、あらゆる可能性・市場性を検討し、本計画期間中には「箱根小涌園 天悠」や「箱根ホテル小涌園」をベースとした出店モデルの確立と1施設の開業を目指します。

当社の長期ビジョンに掲げている「ユニークな事業展開」には、培ってきた歴史・文化・伝統を守りつつ、新たな価値を加えることで事業をさらに進化・発展させていくという想いが込められています。当事業では温泉宿泊施設だけでなく、水族館や日帰り温浴施設、グランピング、旅館と宿坊の良いところを合わせた施設など、時代とともに変化するニーズに向き合いチャレンジし続けてきました。今後も様々なチャレンジを進め、ユニークな事業展開につなげていきたいと考えています。